

第38回 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

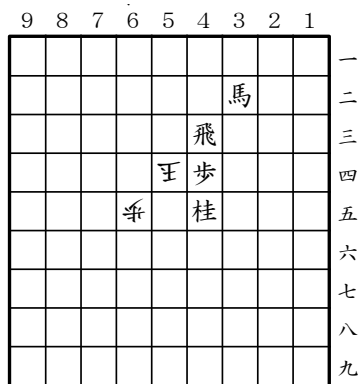
☆今回の「氾濫」のお題は「攻方が損をする作品」です。

詰将棋は与えられた目標を達成する手順を求めるわけですから、その意味では損な手順が正解になることはありませんが、「損」という言葉を作者がどう解釈し、どのように作品に反映したか。これが今回の鑑賞のポイントの一つです。

①ばか詰 5手 (※2解)

神無三郎

- a) 41 飛生、63 玉、61 飛生、52 玉、43 馬迄5手。
- b) 23 飛生、45 玉、25 飛生、34 玉、43 馬迄5手。



持駒 なし

安原嗣治―2解共飛の動きが

かぎ型? いやカギでした。

☆本局は2つの解の対称性を

鑑賞する作品。解説の便宜

上初手41飛生の解をa)、

23飛生の解をb)とします。

両者の差異は飛を縦横の順

に振るか横縦の順に振るか

ですが、玉が歩の裏を回る

b)の方がやや難しく、a)だ

けの解答が3名ありました。

中沢照夫―2解とも飛不成2

回。4三の地点を中心に対

称的な詰め上がり。

原岡望―悔しいが盤駒の助け

を借りて解決。45桂の意味

は?

☆45桂は53玉型で詰む余詰

の防止。65歩は65金で詰む

余詰の防止です。受方53歩

1枚でも大丈夫ですが、飛

を左辺に振る紛れが消え、

味気なくなってしまう。

☆本局での「損」は「不成」、

つまり駒の利きの損です。

しかしばか詰では攻方の利

きの損は、受方の選択肢を

増やすため、純粹な損では

ありません。そこで「損」

の意味を深読みされた方も

いらつしやいました。

山本強志―先手の損は飛を不

成で使うことではなく、ど

ちらの順でも1手指した時

点で「イ」の字形が崩れて

しまう事。(考え過ぎ?)

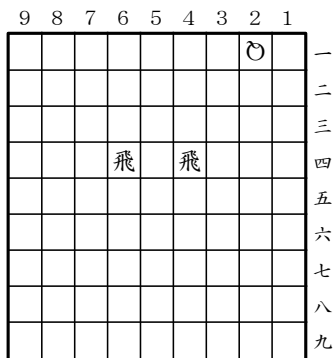
☆考え過ぎは大歓迎。常識か

ら逸脱した解釈は、新たな

着想の源です。

②クイーン王ばか詰 11手

上谷直希



攻方持駒 飛

受方持駒 なし

81飛、同Q、61飛成、71飛、

72龍、同飛、84飛、83飛、

同飛生、92Q、93飛打迄11手。

【クイーン王】玉の性能がチ

エスのクイーン(Qと表記)

になる。

和田裕之―飛車3枚で詰める

問題かと思つて1枚捨てるまでだいぶかかつてしまった。しかし下手に捨てるとうすぐ非限定になる。限定するなら81飛の原型持駒消去！やつとできた。

☆2手の原型消去は不可能という常識を覆す作品。もちろん、獅子の「居食い」のような特殊ルールを使ったわけではありません。

作者（抜粋）——「飛一枚捨てて左右対称形を目指す」というのが今回の課題に沿つた一番の主張です。また第二の主張は72龍の捨駒。再び飛を持駒にするために、盤上の飛を相手に渡すのがちよつと面白いかな？と思つています。

☆不可能を可能にするマジックの種は左右対称形を同形

とみなす詰将棋の慣習の利用と、消去の対象を持駒としたこと（実質は相手への駒の譲渡）。極めて独創的な狙いです。更に：

若林広一私にとっては一番の難問。飛3枚では絶対に詰まないので1枚渡すのは当然だが、一旦2枚渡すのは想定外。結局、解の唯一性を逆手に初手81飛から決め打ち気味に読んで強引にねじ伏せました。

☆持駒の飛に続いて盤上の飛まで相手に渡すのが意外な手順。盤上で駒を動かすより相手の駒台を経由した方が効率的なのです。本局で苦しんだ方々は、この意外な手順と、Qを飛2枚と壁駒1枚で詰める詰上りを絶対に忘れないでしよう。

③ 対面打歩ばか詰 35手
神無太郎

	6	5	4	3	2	1
一						
二						
三						
四						
五						
六					王	
七				馬	馬	
八						
九						王

持駒 歩 18

「38歩、同飛生、28歩、同飛生」×8 38歩、同飛成、28歩迄35手。

【対面】 敵駒と向かい合ったとき利きが入れ替わる。

【打歩】 打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される。

原岡望——持駒をなくすのがミソ。

☆打歩絡みの双玉問題でしばしば見られる法則問題です。まずはその仕組みから。

山本強志——最終手に同龍でも同角でも打歩以外の手で先手玉が詰む。持駒が残っていれば2九歩と打つて詰まない。つまりわざわざ持駒を全部捨てて自玉が詰む状態を作る。これが先手の損。

☆持駒消去は自殺系の詰将棋でよく見られる手順ですが、打歩ルールでこれを表現したのが本局の主張です。そしてもう一つの狙いは：

上谷直希——飛成と不成の対比をシンプルに表現できていますね。

須川卓二——思わず笑つてしまう。飛が成つたほうが詰まされる不条理。

☆28歩に同飛生とできないよう、最後は飛が成ります。成ると損、持駒があると損、確かに不条理ですね。

④ 限定ばか詰 39手
神無七郎

6	5	4	3	2	1
					歩
			と		王
		飛	銀		
				王	

持駒 金4香歩

19香、18角、同香、17香、
89角、78角、同角、67飛、
56角、45香、17香、同飛生、
16香、15香、同香、同飛生、
45角、同飛、19香、18角、
17香、16香、45角、同角生、
23金、同角、14飛、同角、
23金、同角、16香、15飛、
14香、同角、23金、同角、
13歩、同飛、22金迄39手。

【限定】駒を余らせず指定手数で詰める。

駒井信久一角で金を取らせる

しかないが、不可能としか思えなかった。これで非限定がないのは奇跡的。

☆不動玉の構図で一見不可能な詰筋を探す問題です。「限定」の条件がなければ1手で詰みますが、持駒を残すなどという条件があるため、かなりの難問です。

吉田直嗣一重に王手を掛けて初めの合駒を活用する。

飛車の動きが面白い。

☆同じ筋で二重に王手を掛けるのが解決の鍵。斜めと縦でこれを行い、自由に動く角を発生させ、金を何枚でも消せる形を作ります。

もず一持駒の金を消費するために、後手のピンされていない角が必要になり、そのためにピンされていない飛が必要になるという多段構

成。不動玉で合駒が乱舞する作品として白眉です。ところで、駒余りのみを禁止した場合、早詰があるのでしようか？

☆駒余り禁止のみでも大丈夫です。今回は限定ばか詰として出題しましたが、「駒を余らせず」に良いルール名が提案されれば、そちらに変更したいと思います。

⑤ キルケバか自殺詰182手
橘圭伍

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								歩
●	歩	王		王				王
	香							香
	香	歩		歩				ス
	香							
	桂	歩						歩
		角						歩

攻方持駒 なし

受方持駒 飛

55角、73飛、同角成、81玉、63馬、82玉、64馬、81玉、54馬、82玉、55馬、81玉、45馬、82玉、46馬、81玉、36馬、82玉、37馬、81玉、27馬、82玉、28馬、83玉

(=「A」)、33飛、同金

82馬、同玉／88角、A、43飛、同金、82馬、同玉／

88角、55角、73飛、同角成、81玉、63馬、82玉、64馬、81玉、54馬、82玉、55馬、81玉、45馬、82玉、46馬、81玉、36馬、82玉、37馬、81玉、27馬、82玉、28馬、83玉

81玉、45馬、54金、同馬

41金、82玉、55馬、81玉、45馬、82玉、46馬、81玉、36馬、82玉、37馬、81玉、27馬、82玉、28馬、83玉

13飛、同、82馬、同玉／

88角、A、23飛、同、82馬、同玉／88角、A、

33飛、同、82馬、同玉／

88角、A、43飛、同、

82馬、同玉／88角、55角

73飛、同角成 81玉、63馬

72歩、51飛、同金／28飛迄182手。

【キルケ】取られた駒は最も近い実戦初形の位置に戻る。(復活位置を／で表す)

【●】不透過・不可侵の領域。

☆「馬鋸×呼び出し」の趣向。

手順中「金」と「と金」が呼び出される手を強調表記しました。まず本局の巧妙な機構を表した短評から。

もずー飛を捨てることにより

金・と金を呼び出たいので、

飛が復活しないように馬鋸で28をふさぐ必要がある。

馬鋸では玉が81に行き、飛を捨てる際には83に行くという使い分けが鍵になっていきます。ただ、その分紛れが強力ですね。63飛までの

詰め上がりをも想定していたため苦労しました。

☆復活と復活防止の両方を盛り込んだ楽しい趣向手順の後は、難解な収束が待っています。作意の51金までの詰上り(取ると金が41または61に復活し、どちらも自玉への王手となる)以外に、

63飛までの詰上がり(取ると飛が82に復活して自玉への王手となる)も有力で、多くの方が苦戦しています。市村道夫―見事に作った趣向大作。盤上の駒の配置にも、苦心の跡が偲べれます。

☆キルケは復活位置の関係で構図の移動が難しいルールです。本局では不可侵領域の使用もやむなしでしょう。また、23金を13金にしてサイクル数を増やそうとする

と「14と」の利きが仇となり、6手目から次の早詰を生じます。

72馬、同歩／88角、55角、83玉、73飛、82玉、13飛生／41金、73歩、同角生、83玉、28角成、13と以下

☆本局はキルケの醍醐味が味わえる趣向作。作者はネット上でもキルケの好作を連発しており、本局にもその充実ぶりが表れています。

〔各題の正・誤・無解者数〕
③ 16 2 20 ④ 8 0 30 ⑤ 8 0 30
⑥ 36 0 2 ⑦ 32 0 6 ⑧ 8 2 28

【総評など】

幻想咲花―④が解けて、フェアリー初解答を送る気になりました。まだかしこめインですが、フェアリーもちよくちよくやっていきたいと思えます。

☆今回は初解答多数。普段は難問の多い「氾濫」ですが、フェアリー愛好家の開拓に役立つのは嬉しいですね。

【解答成績】(太字5名当選)

【全題正解】市村道生、もず、駒井信久、橘圭伍、若林広、和田裕之
【5題】須川卓二
【4題】上谷直希、幻想咲花、原雅彦、吉田直嗣
【3題】原岡望、西村恒雄、森美憲、山本強志、k z
【2題】天津包子、市川樹生、伊藤美昭、赤井秀雄、神谷薫、佐々木寛次郎、雫保友、武田静山、竹中健一、中沢照夫、中村増一、中山芳樹、西尾行広、林八江子、安原嗣治、山下誠、和田登

【1題】市原誠、滝本幹夫

藤川薫【無解又はコメントのみ】佐藤司、塚崎彰仁